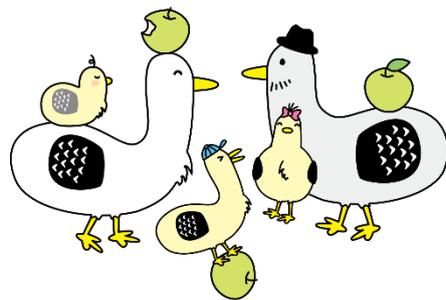


子育て支援に関する アンケート結果報告書



松戸市

調査対象

令和4年7月末現在の住民基本台帳の対象児童

(平成31年4月2日から令和4年7月31日までに生まれた子ども)の中で、令和4年8月時点で保育施設などに入所していない子どもの保護者

調査方法

郵送でアンケートの案内を配付し、ちば電子申請サービスで回収した

調査期間

令和4年9月1日(木)~10月15日(土)

配付数

5,941通

回答者数

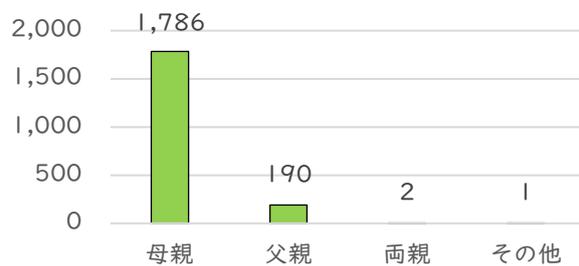
1,979通

回答者率

33.31%

ご回答いただいている方はどなたですか

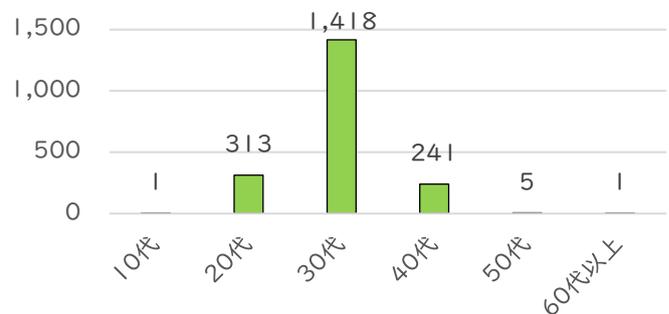
母親	1,786	90.2%
父親	190	9.6%
両親	2	0.1%
その他	1	0.1%
合計	1,979	100%



回答者は90%以上が「母親」である。その他1件は「里親」である。

ご回答いただいている方の年齢をお答えください

10代	1	0.1%
20代	313	15.8%
30代	1,418	71.7%
40代	241	12.2%
50代	5	0.3%
60代以上	1	0.1%
合計	1,979	100%

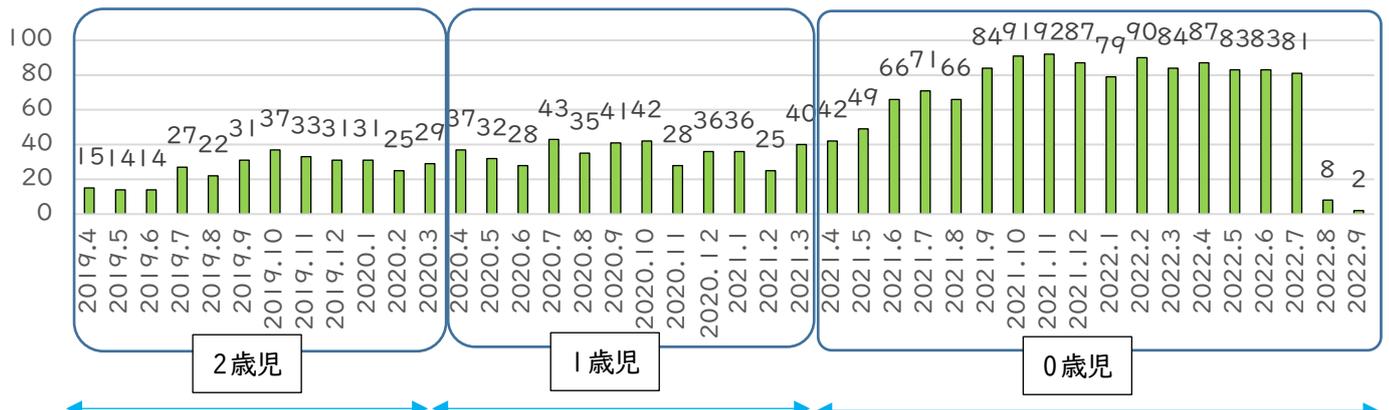


回答者の70%以上が30代であった。

30代の母親が20代の母親の約4.5倍となっており、女性の出産年齢が高いことを示す。

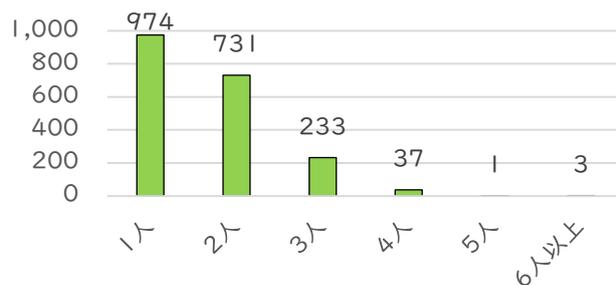
60代以上の回答者は「設問1」で「その他」と回答した里親である。

お子さんの産まれた年月をお答えください



🌸 お子さんの人数をお答えください

1人	974	49.2%
2人	731	36.9%
3人	233	11.8%
4人	37	1.9%
5人	1	0.1%
6人以上	3	0.2%
合計	1,979	100%



回答世帯の約半数が「一人っ子」である。次いで2人が約36.9%となっており、1世帯当たりの子どもの数が少ないことが確認されている。

🌸 世帯の同居の状況についてお答えください

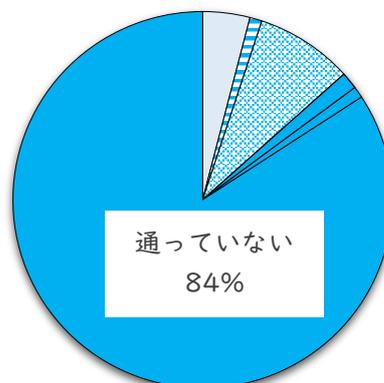
夫婦・子ども世帯	1,690
3世代	65
3世代+親族同居	4
核+親族同居	10
ひとり親(母子)	168
ひとり親(母子)+3世代	14
ひとり親(母子)+親族同居	1
ひとり親(母子)+3世代+親族同居	2
ひとり親(母子)+パートナー	1
ひとり親(父子)	21
ひとり親(父子)+3世代	1
ひとり親(父子)+3世代+親族同居	1
その他	1
合計	1,979

夫婦・子ども世帯	1,690	85.4%
ひとり親 母子家庭	168	8.5%
ひとり親 父子家庭	21	1.1%

回答世帯の85.4%が「夫婦・子ども世帯」である。
 回答世帯のひとり親世帯のうち、
 母親と子だけの単身世帯は8.5%
 父親と子だけの単身世帯は1.1%となっており、
 母子家庭の世帯が父子世帯を上回っている。

🌸 お子さんが通っている施設はありますか

保育所(園)・認定こども園	76
小規模保育施設	21
幼稚園(プレ・満3歳児保育)	169
認可外保育施設	29
児童発達支援施設	19
通っていない	1,665
合計	1,979



アンケート送付世帯については、「保育サービスを受けていない」ことを条件としたが、時点の関係で回答者数のうち、9月入所児童となった子どもが76名含まれた。

また、認可外保育施設、幼稚園利用(プレ・満3歳児)についてもリアル抽出が困難であったため送付対象に含まれた。

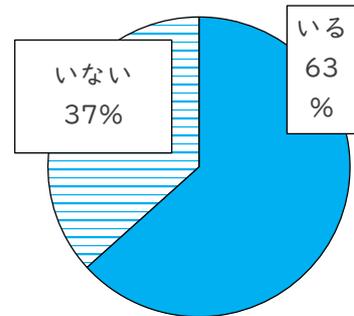
回答数のうち84%は「所属の無いこども」となった。

(1) 子育て中のストレスについて

◎少しの間、お子さんを見てくれる人はいますか

(保育施設等に通っていないと答えた人1,665件のみ回答)

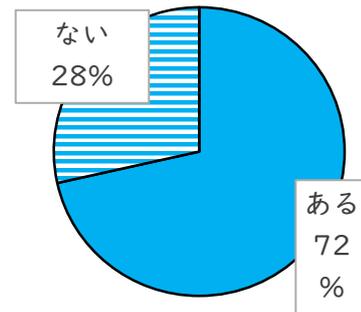
いる	1,054	63.0%
いない	611	37.0%
合計	1,665	100%



所属が無いと答えた人のうち、約6割は「少しの間子どもを見てくれる人がいる」ことが分かったが、残り約4割は「見てくれる人がいない」と答えており、この部分にあたる親子への手だてが必要となる。

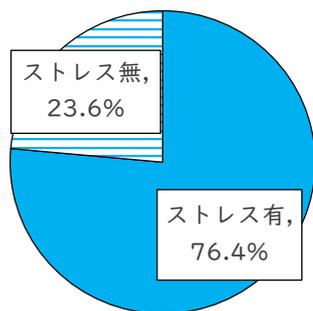
◎子育てをされていてストレスを感じることはありますか

ある	1,418	71.6%
ない	561	28.3%
合計	1,979	100%



回答者の7割以上が何らかのストレスを感じていることが読み取れる。

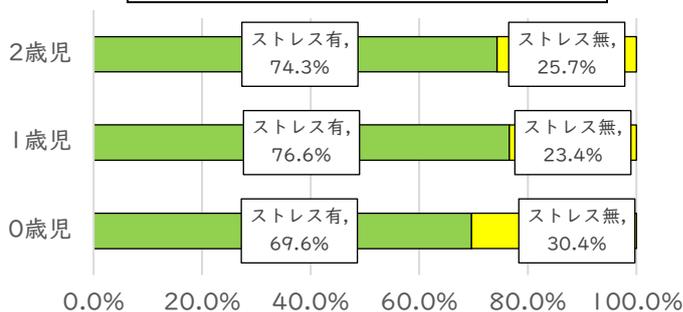
子どもを見てくれる人がいない親のストレス



「少しの間お子さんを見てくれる人はいますか」という回答で「いない」とした611名の子育てストレスを分析したところ、76.4%が「ストレスがある」と回答している。

ストレスを感じている保護者について、「子どもの年齢」や「家族構成」による影響をクロス集計した結果が以下の通りである。

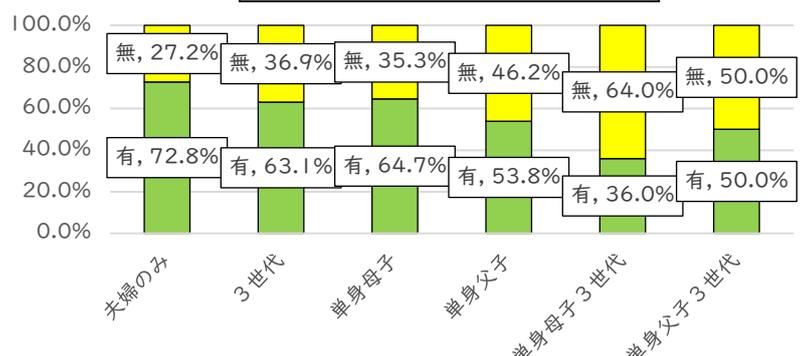
子どもの年齢ごとのストレスの比率



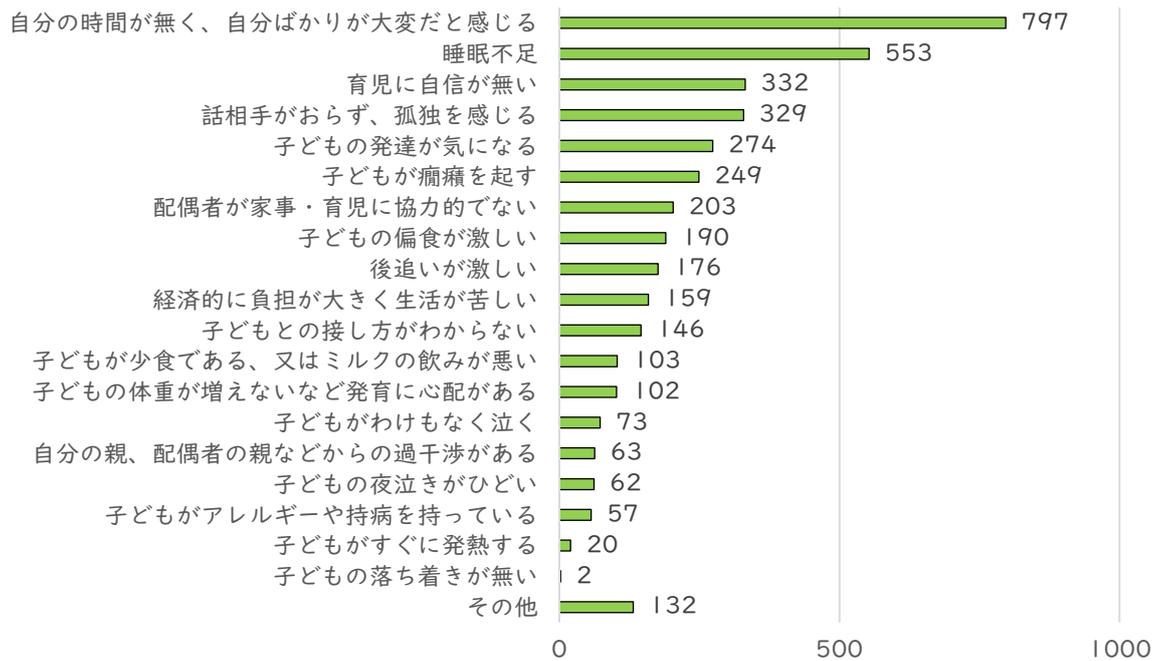
年齢別ではわずかながら1歳児の親のストレスが多く、0歳児のうちはストレスがさほど多くない。

家族構成によるストレスの比率を分析したところ、夫婦のみで子育てをしている世帯の親のストレスは、この形態の世帯全体の72.8%で、ひとり親世帯のストレスを上回るものとなっている。

家族構成によるストレスの比率



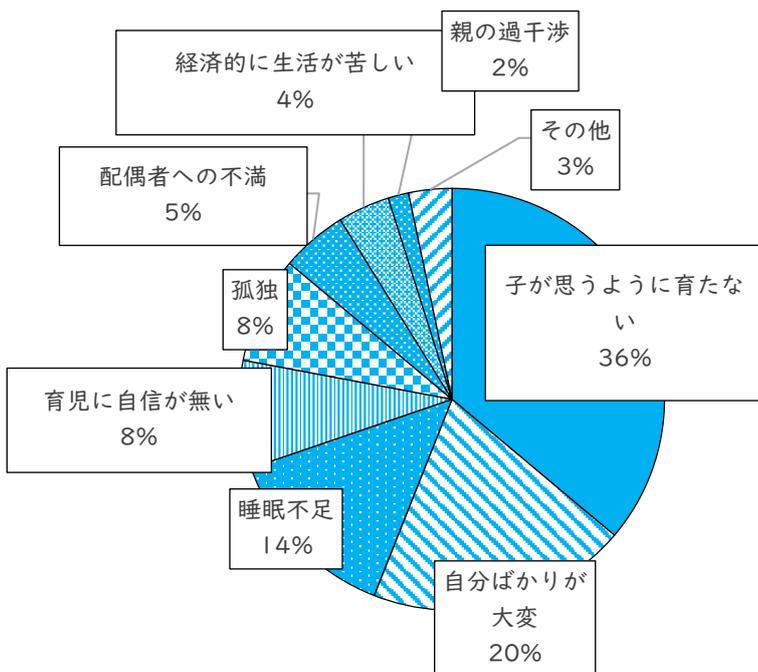
◎どのようなことでストレスや苛立ちを感じますか



個別の回答としては「自分の時間が無く、自分ばかりが大変であると感じる」と答えた回答数が一番多く、次いで睡眠不足等があり、全体的に親の疲れが読み取れる。

上記の回答を大きくカテゴリーに分けてみると

「子どもの育ち」等に関して心配や苛立ちがあると回答した人が全体の36%にのぼり、親の望む育児と実際の子どもの姿に多少の乖離があり、このことも苛立ちやストレスの原因になっていることが読み取れる

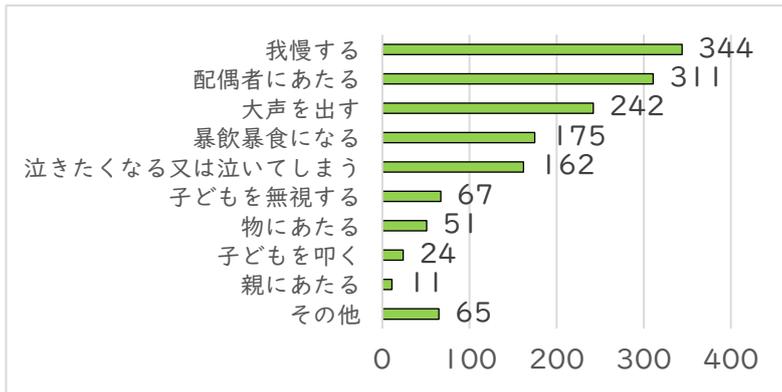


その他に記載された主な回答

- ・自分自身が育児に疲れている
- ・育児に関することに不安がある
- ・新型コロナウイルス感染症により、不安や孤独を感じる
- ・配偶者が育児に協力的でない
- ・育児について社会の目が気になる

◎ストレスや苛立ちを感じた時に思わずやってしまうことはありますか

(回答はストレスを感じると答えた回答者対象)



その他に記載された主な回答

- ・気を紛らわす
- ・自傷行為をする
- ・自殺を考える
- ・子どもと距離を置く
- ・子どもを不必要に怒る・怒鳴る・叩く

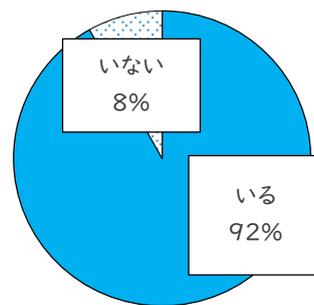
選択項目のうち「子どもを無視する」「子どもを叩く」「大声を出す」等子どもに影響を及ぼすものについては「333件」に及んでいる。また、子どもに対するものには、二人以上の子育てをしているケースにおいて、上の子に対してきつく当たる様子も見受けられる。

その他の回答の中には「自殺を考える」「自分を叩いたり噛んだりする」などの自傷行為などを回答する親もあり、切羽詰まった精神状態に陥ることもあることが読み取れる。

(2) 相談相手について

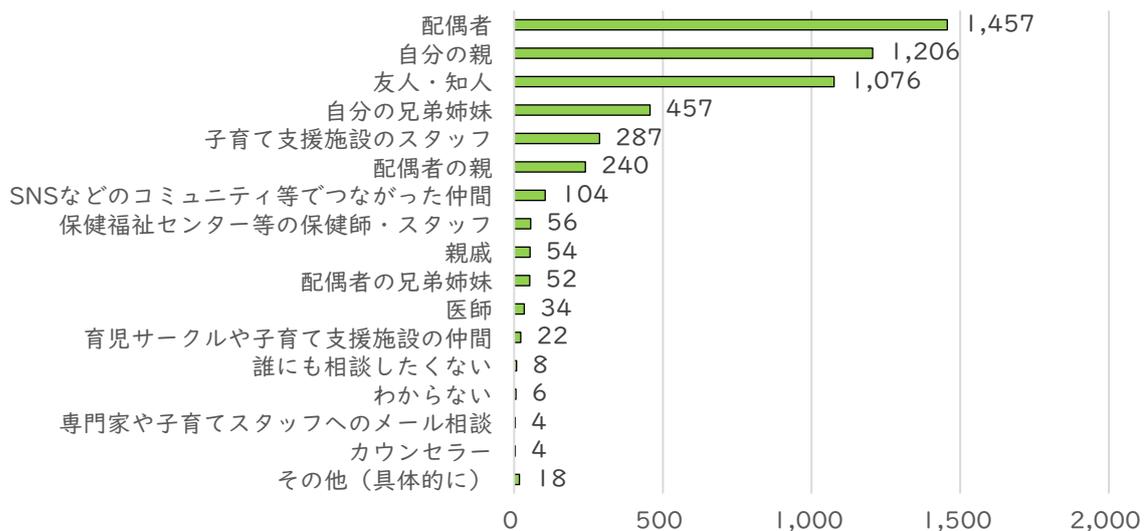
◎悩みや愚痴などを聞いてくれる相談相手はいますか

いる	1,819
いない	160
合計	1,979



回答者の9割以上が、相談相手がいると回答している

◎相談相手は誰ですか

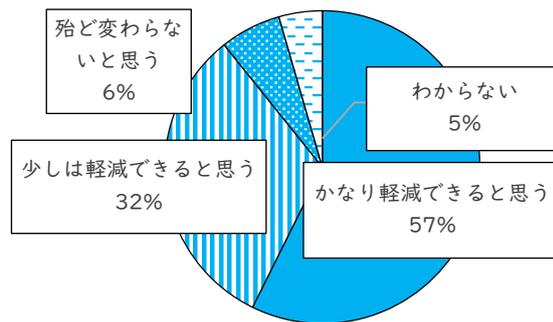


相談相手については一番身近にいる「配偶者」や「自分の親」とする回答が多い。子育て支援施設のスタッフや保健師などを挙げる回答も多い。

(3) 一時預かりのニーズについて

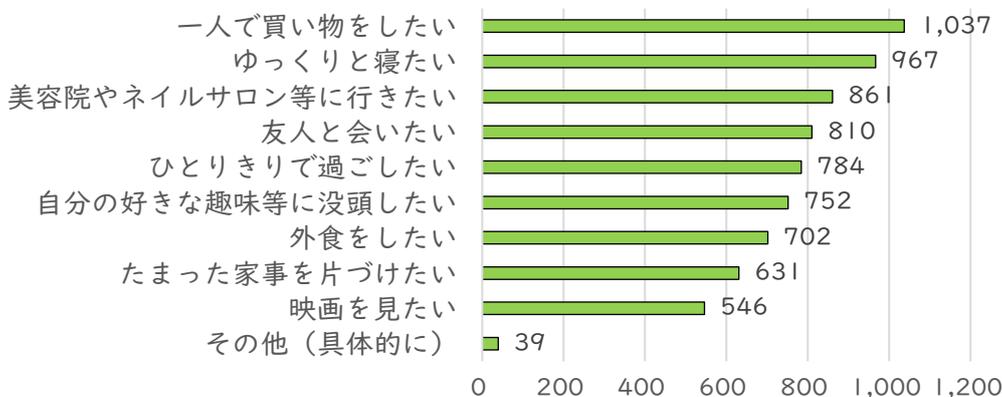
◎週1回自分だけの時間があれば、あなたのストレス度合いは減りますか

かなり軽減できると思う	1,134
少しは軽減できると思う	633
殆ど変わらないと思う	124
わからない	88
合計	1,979



「かなり軽減できる」「少しは軽減できる」とした回答は合わせて約90%となり、自分だけの時間を欲している保護者が多いことがわかる。

◎週1回自分だけの時間が4時間あったら何をしたいですか

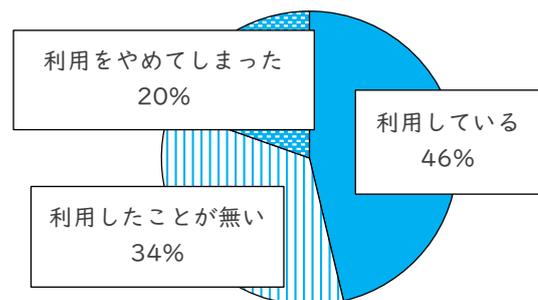


殆どは自身を充実させるためにやりたいことを回答している。子どもから離れて一人きりで過ごしたりゆっくりと寝たいという回答も多い。その他の回答の中には、自身の通院や、歯医者を受診するための時間が欲しいとしているものも15件ほど含まれている

(4) 地域子育て支援拠点について

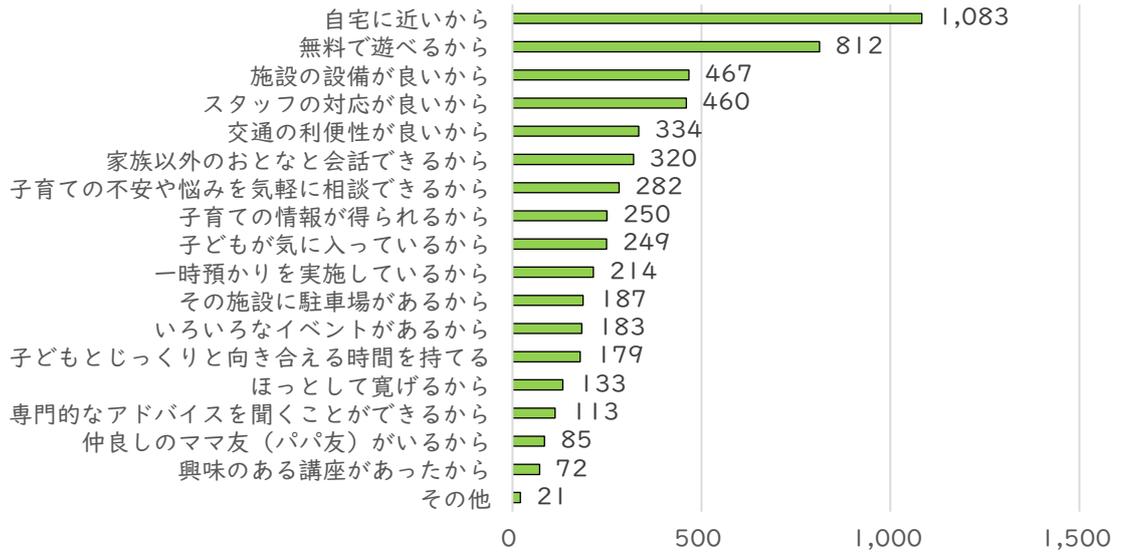
◎子育て支援施設を利用したことがありますか

利用している	916
利用していたが、利用をやめた	387
利用したことが無い	676
合計	1,979



子育て支援施設を利用している人は、回答者の46%と全体の約半数であり、以前は利用していたもののやめた又は全く利用していない人については合わせて50%以上となっており、所属の無い子どもの世帯は現状で約半分がどこにも通わず自宅で過ごす状況にあることがわかる。

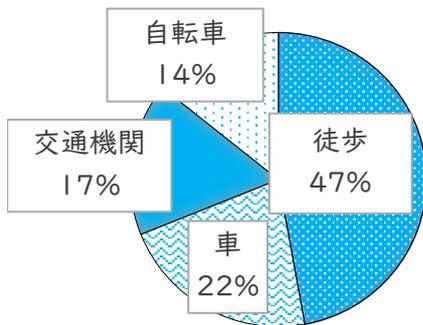
◎子育て支援施設を利用するにあたり、重視した点または利用する理由は何ですか



子育て支援施設を利用する条件としては「自宅に近い」という理由が最も多く、近所で手軽に出かけられる場所として利用されていることがわかる。

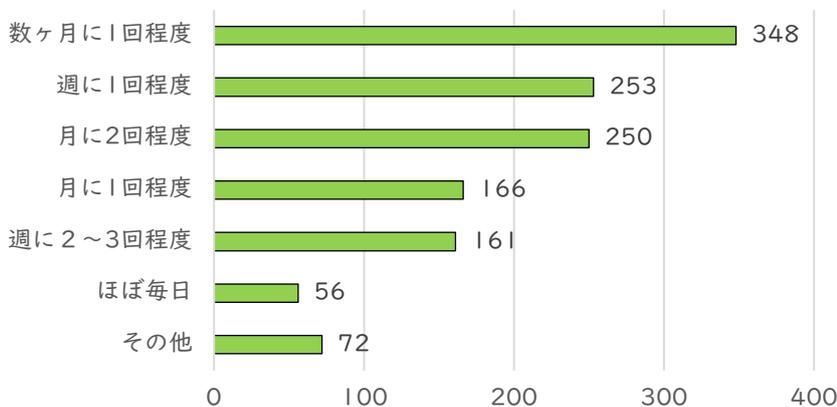
また、立地条件だけではなく、スタッフや家族以外のおとなとの会話を求めたり、不安や悩みを気軽に吐露できる場でもあることがわかる。

◎子育て支援施設を利用した方、利用手段をお答えください



利用理由に自宅に近いことを挙げた回答が多かったように、自宅から徒歩で出かけているケースが多い。また、駐車場がある施設には車を利用して少し遠方からでも出向いているようである。

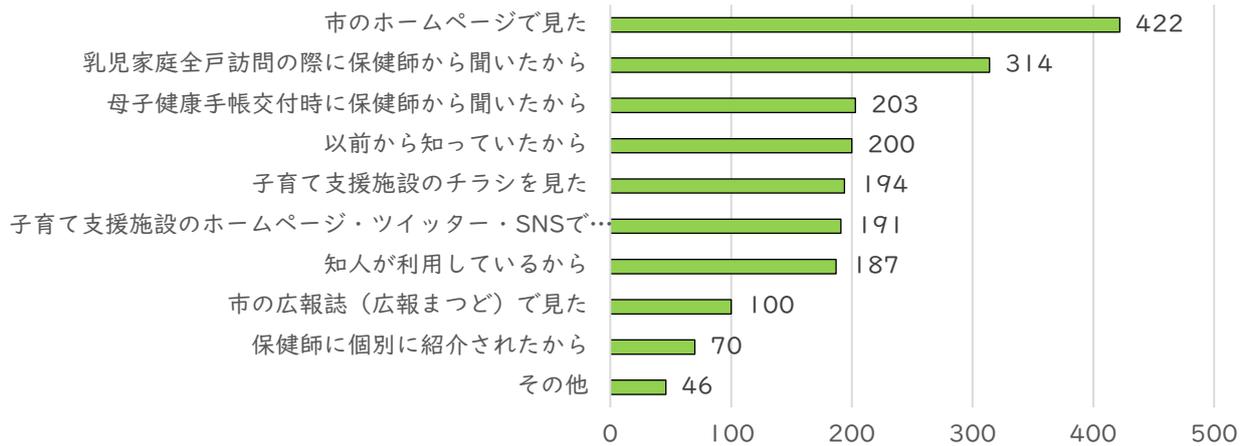
◎子育て支援施設を利用している方（又は利用していた方）利用頻度をお答えください



利用頻度は数ヶ月に1回程度が最も多い。

その他の回答の中には「1度だけ利用した」という単発利用者の割合が多かった。

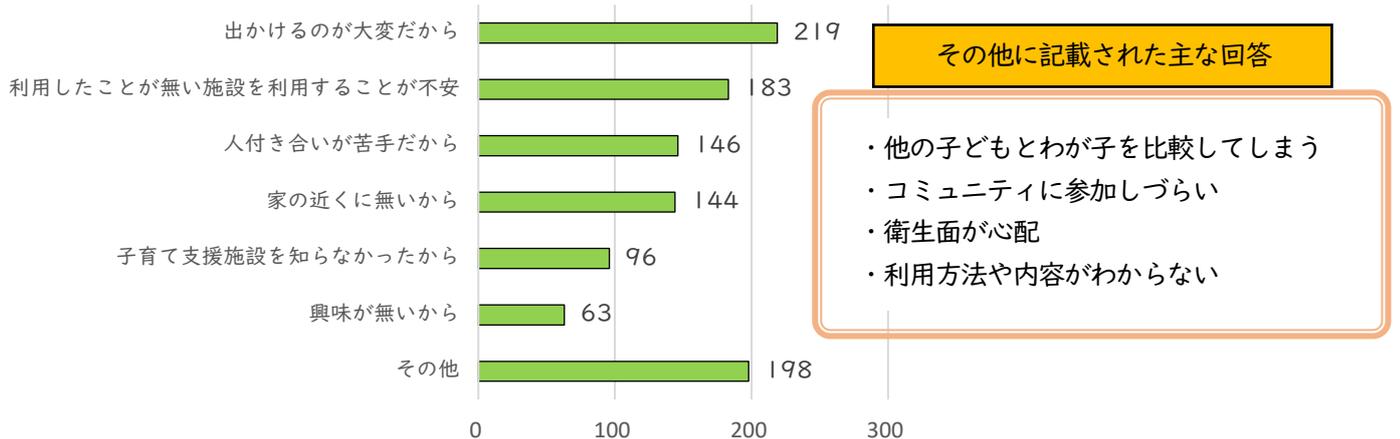
◎子育て支援施設を利用した方、きっかけをお答えください



市のホームページを見て利用したという回答が最も多かったが、それ以外では、市内の保健師の働きかけが利用促進に寄与していることがわかる。

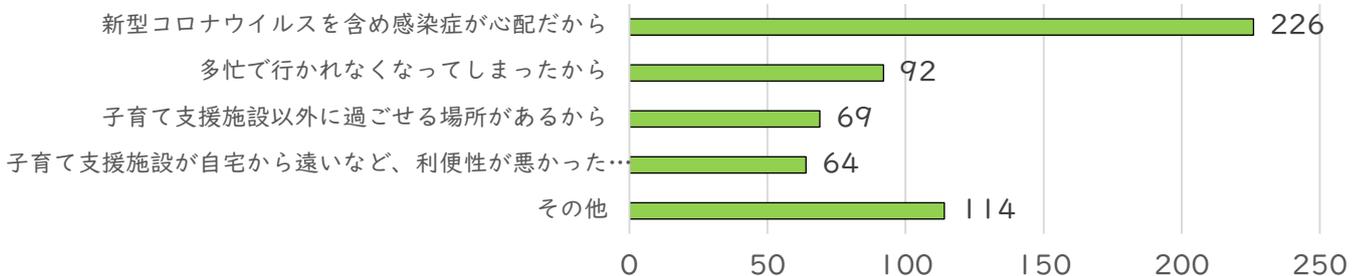
保健師の働きかけで利用につながったとする回答は利用契機の3割を占めている。

◎子育て支援施設を利用したことが無いと答えた方、その理由をお答えください



◎子育て支援施設を利用していたが途中でやめてしまった理由をお聞かせください

(回答は子育て支援施設をやめてしまったと答えた回答者対象)



新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、不特定多数の集団の中に子どもを連れていくことを恐れ、利用しなくなった保護者が多い。

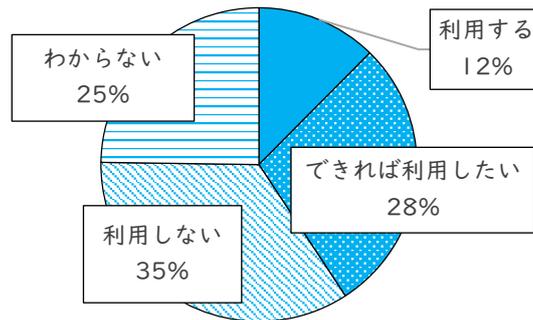
交通の便の悪さや、子どもを抱えて暑さの中を出向くことが大変で、行かなくなったという回答も多くみられた。

また、すでに出来上がっている母親同士のグループに入りづらさを感じて行きにくくなってしまったという回答も多くみられた。

(5) 家事・育児支援について

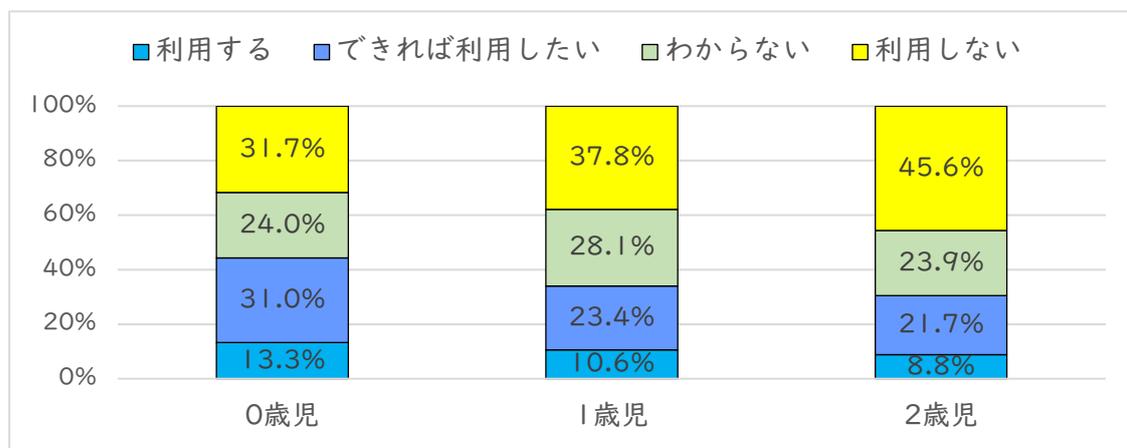
◎訪問型の「家事・育児支援」について、利用料に一部補助があれば利用したいと思いますか

利用する	242
できれば利用したい	560
利用しない	685
わからない	492
合計	1,979



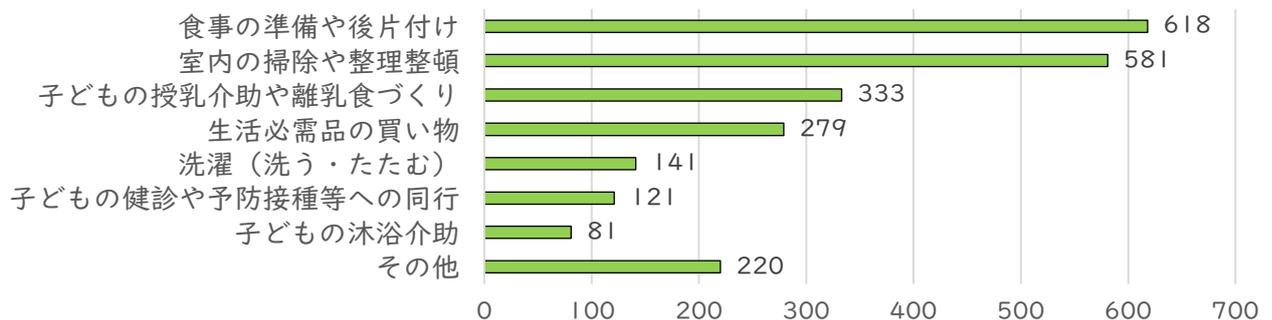
「家事育児支援」を「利用する」又は「できれば利用したい」との回答をあわせて全体の約40%となった。

年齢別の家事・育児支援サービスのニーズ



利用ニーズについて子どもの年齢別にクロス集計したところ、一番ニーズが高いのは0歳児を持つ世帯からであり、年齢が上がるにつれ、少しずつニーズは下がって行くことがわかる。

◎どのような「家事・育児支援」を受けたいですか（前問にて「利用しない」と回答した人以外）



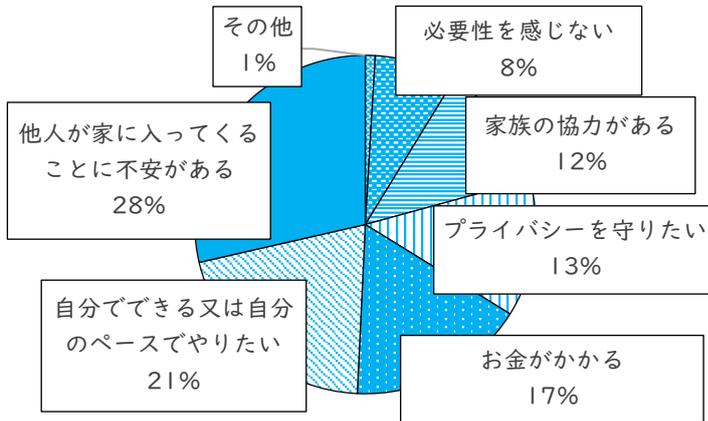
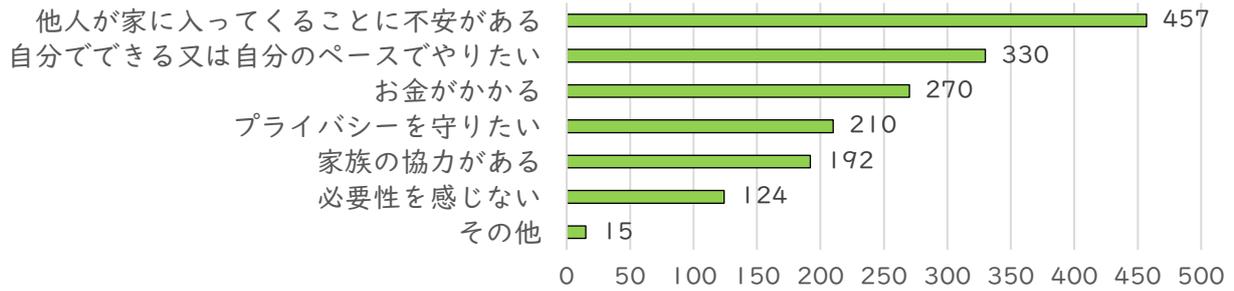
選択肢からの回答では「食事の準備」「掃除」といった通常の家事支援のニーズが高かった。

その他に記載された主な回答

その他の回答の多くは「家事支援」というよりは、「子どもを見てほしい」という要望が多かった。

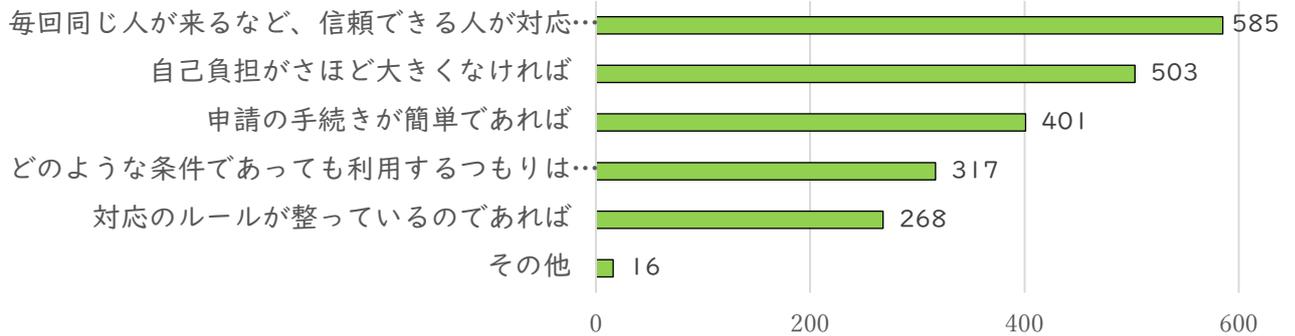
- ・子どもを見ていてもらう間に家事を片づけたい
- ・乳児を連れていられない用事の場合子どもと留守番してほしい

◎「家事・育児支援」を利用しないと考えるのはなぜですか



「利用しない」理由として、「プライバシーを守りたい」「他人が家に入ってくることに不安がある」との回答は 回答数の42%となっており、自宅に他人を入れたくないと考える人が多い。また、17%の人が、料金を心配しており、本来ならば支援を求めている人がこの中に入っている可能性がある。

◎「家事・育児支援」について、どのような条件であれば利用しますか



どのような条件であっても利用するつもりが無いとの回答は、317件。今回のアンケートの全回答数の16%ほどとなっており、それ以外は条件が整えば利用する可能性もある。

